



世界一行きたい科学広場 in 宗像 2018



りかどく Let's 理科読 音をつくろう

宗像市民図書館では、8月11日(土)に宗像ユリックスで開催された「世界一行きたい科学広場 in 宗像 2018」において、NPO法人ガリレオ工房と協働で、理科読イベント「Let's 理科読 音をつくろう」を実施しました。

理科読(りかどく)とは、科学的読み物を読んで科学に親しみ、積極的に理科を学ぼうという趣旨の造語です。

場所	宗像ユリックス図書館2階 調べ学習支援コーナー	
日時/ 参加者数	8月11日(土)	1回目 11:00~12:10 子ども20人 大人10人
		2回目 13:30~14:40 子ども19人 大人14人
担当	ガリレオ工房	・NPO法人ガリレオ工房理事の土井美香子さんによる「Let's 理科読 音をつくろう」の実演
	図書館	・「音」に関する本の収集、展示、貸出と、本のリスト作成、配布 ・図書館以外のブースの実験テーマに関する本の収集、展示、貸出と、本のリスト作成、配布 ・図書館以外のブースの実験テーマに関する本を紹介するPOP(ポップ)カードの作成と各ブースへの掲示

「音」をテーマに、科学絵本、紙芝居の読み聞かせと、それにちなんだ実験を行いました。子どもたちは、読み聞かせも実験も集中して楽しんでいました。

東海大学付属福岡高等学校の生徒と、昨年、図書館で開催した「理科読ボランティア養成講座」後に結成されたボランティアグループ「理科読 風ぐるま」のメンバーが講師の補助を務めました。



テーマの「音」にちなんだ絵本の読み聞かせ



タビオカストローを使って不思議な音の出るトロンボーンを作りました



講師が読む紙芝居のストーリーに沿って全員参加で色々な道具を使って効果音をつくりました